



説明文・論説文(1)／作文の書き方

例題

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

ポイント

●「話題」について読み取る。

・「話題」とは、文章全体を通して書かれているテーマのことです。
・「話題」は「～ではないでしょうか」などの問いかけの文から読み取れることが多いので、注目しましょう。

●「話題」についての筆者の考えを読み取る。

・論説文には、「話題」についての筆者の考え（意見）が書かれています。

・筆者は具体的な例を挙げて、論を展開します。具体例が、どのような考え（意見）の根拠となっているか考えながら読みましょう。

□(1) この文章で、筆者はどのような話題について述べようとしていますか。文章中の言葉を使って、五十字以内で書きましょう。

□(2) — 線①「たとえば、こんな実験があります」とありますが、筆者はこの結果を通して、どのようなことを説明しているのですか。それがわかる部分を文章中から探し、はじめと終わりの五字を書き

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 予見…物事が起こる前に、あらかじめ見通すこと。

(池谷裕二) 「脳には妙なクセがある」より

アガサ・クリステイ……イギリス生まれの世界的に有名な推理小説作家。

著作は、全世界で十億部以上出版されている。

バイアス：先入観のこと。

ロジック：論法ろんぽうや論理。

ぬきましよう。

□(3) 線②「『後知恵バイアス』」に対応するためには、筆者はどのようにしたらよいと述べていますか。それがわかる一文を文章中から探し、はじめの五字を書きぬきましょう。

□(4) 線③「よく考えてみれば、極めて根柢が薄いロジックが基盤となっていています」とありますが、これと同じような内容が書かれている部分を探し、簡潔にまとめて書きましよう。

□(5) (1)で提示した話題についての結論として、筆者はどのようなことを述べていますか。文章中の言葉を使って、五十字以内で書きましょう。

[illegible]

□(2)

——線②「別の調査」とありますが、筆者はこの調査の結果から、理想自己と現実自己のズレの大きさを、どのようなものだととらえていますか。あてはまる部分を文章中から探して、はじめと終わりの五字を書きぬきましょう。

□(3)

「理想自己」と「現実自己」の関係述べたものとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 理想自己が成長すれば、現実自己はさらに上昇していく。

イ 現実自己が成長すれば、理想自己はさらに上昇していく。

ウ 理想自己に対して感じる不満が、成長へのバネとなる。

エ 現実自己に対して感じる不満が、成長をさまたげる。

□(4)

筆者がこの文章を通して述べていることを、「向上心」「自己形成」という言葉を使って、六十字以内で書きましょう。

2

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(本川達雄「ウニはすごい バッタもすごい」より)

(注) ふんだんにある…たくさんある。

沈殿…底にしずんでたまること。

脊椎動物…体が左右対称で背骨をもつ動物。魚類、両生類、はちゅう類、

鳥類、ほにゅう類がふくまれる。

クチクラ…生物の体の表面にできるかたい膜で、水分の放散の防止や、

体の保護に役立つ。植物では葉の表面にみられ、動物では昆

虫などの体の表面にみられる。

翼竜…中生代のジュラ紀に出現した翼竜目のはちゅう類。皮のような膜

を翼にして飛行することができた。

□(1) 生き物とその骨格をつくるものの組み合わせの説明として、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア サンゴの骨格——有機物である炭酸カルシウム

イ 脊椎動物の骨格——無機物であるリン酸カルシウム

ウ 昆虫の骨格——無機物であるクチクラ

エ 飛ぶ脊椎動物——有機物であるクチクラ

35

30

□(2)

——線①「二億年以上もの間、昆虫が空を独占していた」とありますが、どういうことですか。文章中の言葉を使って、四十五字以内で書きましょう。

□(3)

——線②「昆虫の大成功」とは、どういうことですか。昆虫が外骨格にクチクラを用いたためにできたことを説明しつつ、「制覇」という言葉を使って、八十字以内で書きましょう。

作文

作文の書き方

ポイント

● テーマをとらえ、自分の考え（立場）を明確にする。

・ 意見文を読んで書く場合は、どんなテーマについて書かれているのかを正確にとらえましょう。

・ そのテーマについて、賛成か反対かという自分の立場を最初にはっきり書きましょう。

● 事実や体験・経験など、具体的な例を挙げて説明する。

・ 自分の考え（立場）の理由となるような例を挙げ、読む人にわかりやすく伝えることを意識しましょう。

・ 立場を明らかにしたら、続けて、自分の体験を交えながら理由を書きます。まず、理由として強調したい部分を「その理由は……です」「なぜなら……からだ」などの形で書き、そのあとに体験を書きましょう。

・ 最後は、強調したい内容を簡潔にくり返したり、体験から導かれる別の理由を書いたりして、作文をまとめましょう。

問題 次の本田さんと木村さんの意見を読んで、あとの指示にしたがって作文を書きましょう。（解答用紙は別紙の原稿用紙を使いましょう。）

〈本田さんの意見〉

わたしは、学校の図書室にマンガを置いて貸し出しを行うべきだと思う。理由は、まず、活字の本が苦手な人、興味がない人が、何かを読むきっかけになると思うからだ。今まで活字の本を手にとってこなかった人も、図書室においてあるマンガなら気軽に手に取ることができるだろう。友だちにすすめられて、読むこともあると思う。もう一つの理由は、マンガを置いて貸し出すことで、図書室を利

用する人が増える可能性があるからだ。今まで利用する機会がなかった人も、マンガがあるなら行ってみようとするだろう。そのようにして、多くの人の読書生活が豊かになるようにするべきだと思う。

〈木村さんの意見〉

ぼくは、本田さんの意見には反対だな。マンガをきっかけに図書室へ行くようになった人は、マンガばかり借りると思う。マンガを借りる人が多いからって図書室にマンガが増えたら、活字の本の数が減ってもともと本を好きだった人が利用しにくくなるんじゃないかな。

□(1) 本田さんの意見と木村さんの意見を、それぞれの理由もふくめて百五十文字以内にまとめましょう。

【下書き】

□(2) 線「学校の図書室にマンガを置いて貸し出しを行うべきだ」というテーマについて、あなたはどう思いますか。本田さんと木村さんの意見をもとに、あなたの意見を二百字以内で書きましょう。

【下書き】

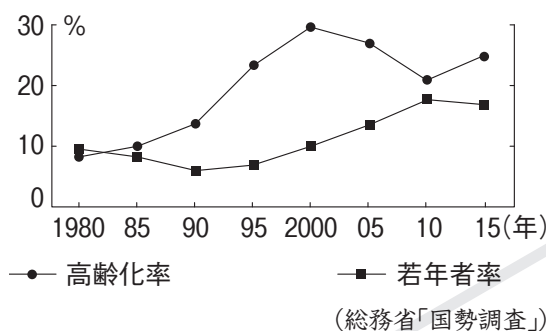
- (1) 下線部①について、資料2を見て、けんたさんがまとめた次の文章中(A)・(B)にあてはまる数字を書きなさい。

A() B()

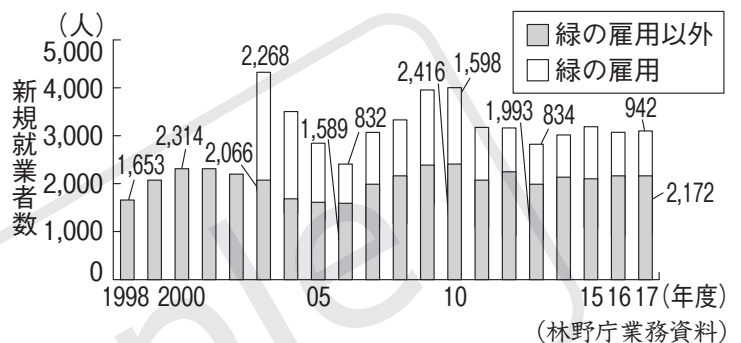
1980年のピーク時から比べると、2018年の木材の価格はかなり下がっています。例えば、2018年のヒノキ中丸太の価格は、1980年のおよそ(A)分の1、スギ中丸太の価格は、およそ(B)分の1まで下がっています。

- (2) 次のグラフ1は、林業で働く人の^{こうれいかりつ}高齢化率と^{じゃくねんしゃ}若年者率の推移を表しています。グラフ2は、林業で新規に働く人の数の推移を表しています。下線部②の緑の雇用という取り組みを行う理由とその効果について、会話文、グラフ1とグラフ2を参考にして、^{かんたん}簡単に説明しなさい。

グラフ1 林業で働く人の高齢化率と若年者率の推移



グラフ2 林業で新規に働く人の数の推移



- (3) 下線部③について、さやかさんは森林経営管理制度について、次の文章にまとめました。資料3と資料4を参考にして、文章中の()にあてはまる内容を書きなさい。

森林経営管理制度は、森林所有者の意思にもとづいて、市町村に依頼して森林の経営管理をしてもらう制度です。市町村は経営管理を依頼された森林のうち、林業の経営に適さない森林については、自ら管理をします。また林業の経営に適する森林については、()など、森林所有者との仲介の役割をはたしています。

演習問題B

1 さやかさんとけんたさんは、日本の林業の問題点について話し合っています。次の会話をを読んで、あとの問いに答えましょう。

さやか：「資料1を見て。林業で働く人の数は減ってきているね。」

けんた：「そうだね。どうしてだろう。」

さやか：「資料2を見ると、木材の価格がかなり下がっているみたいだね。」

けんた：「①どの種類の丸太の価格も下がっているけど、ヒノキの価格が最も下がっているね。」

さやか：「本当だ。これだけ木材の価格が下がってしまうと、林業で生活するのはむずかしいのかな。」

けんた：「国や都道府県などの地方公共団体は、この問題に対していろいろな取り組みをしているんだ。」

さやか：「具体的にどんなことをしているの？」

けんた：「②緑の雇用^{こよう}という取り組みについて知っている？」

さやか：「どんな取り組みなの？」

けんた：「林業経営体に採用された人に対し、必要な技術を学べる講習や研修を行うことで、より職業能力を向上^{しえん}できるように支援するという制度だよ。」

さやか：「なるほど。」

けんた：「それから資料3と資料4を見て。」

さやか：「資料3を見ると、森林所有者の多くは、林業経営について積極的ではないことが読み取れるね。」

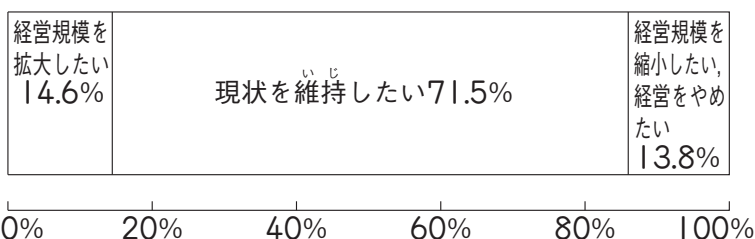
けんた：「そうだね。でも、資料4を見ると、林業経営者の多くは、経営の規模^{きぼ}を拡大したいと思っていることがわかるよね。」

さやか：「林業の経営規模を拡大したいと思っている人が70%もいるんだ。」

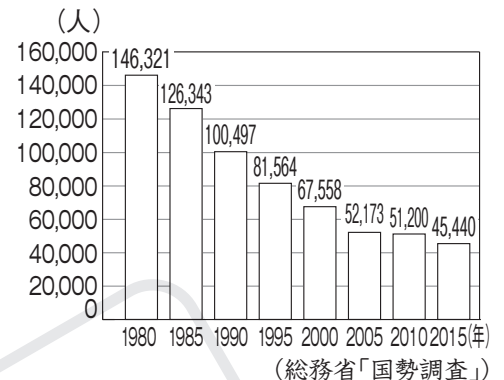
けんた：「そうなんだ。このような課題に対して、③森林経営管理制度^{しんりんけいぎょうかんりせいど}というのがあるんだ。」

さやか：「それぞれの市町村が行っている取り組みだね。」

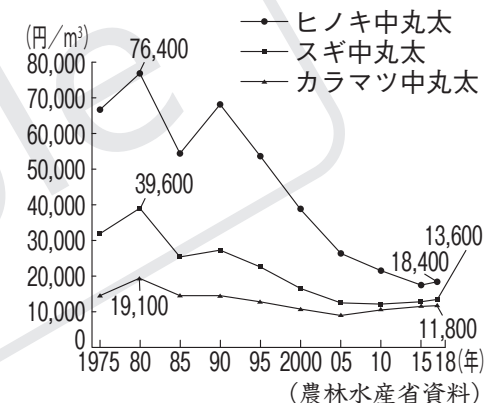
資料3 森林所有者の林業経営規模の意向



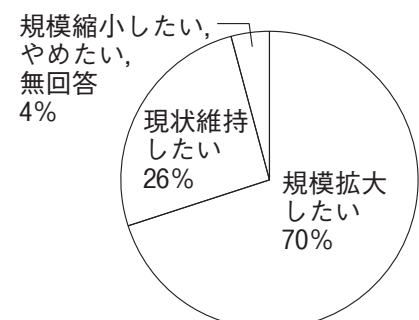
※100%にならないのは四捨五入^{ししごにゅう}の関係
(農林水産省「森林資源の循環利用に関する意識・意向調査」(2015年))

資料1 林業で働く人の数の推移^{すいい}

資料2 木材価格の推移



資料4 林業経営者の今後の規模拡大への意向



(素材生産業者へのアンケート結果(2015年))

2 たくやさんは、世界自然遺産^{いさん}について調べ、レポートにまとめました。これを見て、あとの問いに答えましょう。

【世界遺産とは】

世界遺産とは、世界中の人たちの宝物として、守っていく必要のある大切な文化財や自然のことです。

【日本の世界自然遺産】

現在、日本の世界自然遺産は五つ登録されています。世界自然遺産に登録されるためには、次の四つの評価基準のうち、一つ以上にあてはまっている必要があります。

基準	内容
自然美	自然美・美的価値がある地域
地形・地質	地球の歴史のおもな段階を代表する見本
生態系 ^{せいいたいけい}	生態系などの進化，発展において，その過程を代表する見本
生物多様性	生物多様性の生息域 ^{せいそくいき} 内保全にとって重要な自然の生息地

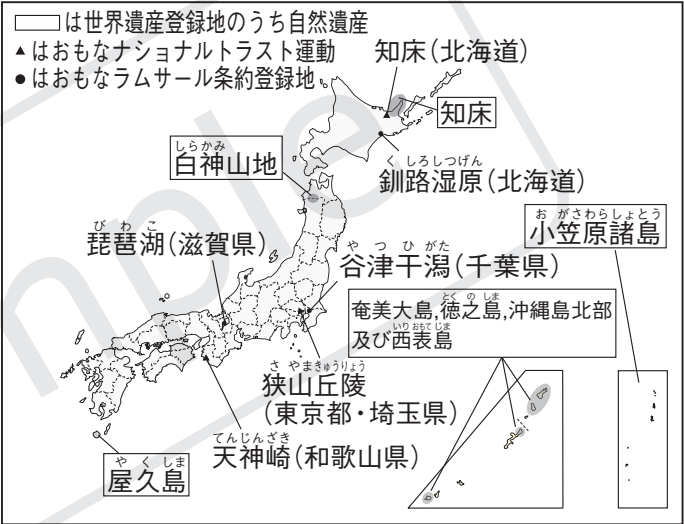
【①知床^{しれとこ}について】

知床は、日本で3番目に世界自然遺産に登録されました。

知床は、海から陸へとつながる生態系がわかりやすく見られること、希少な動植物の生息地となっていること、またこれらを保全する管理体制が整っていることを認められました。

【②ナショナルトラスト運動】

約120年前にイギリスで始まった、自然保護のための運動です。



□(1) 下線部①について、知床が世界自然遺産に登録されるにあたって認められた評価基準を、表中の基準から二つ抜き出して書きなさい。

()

□(2) 下線部②について、次の文章は、たくやさんがナショナルトラスト運動により有名になった天神崎の取り組みについてまとめたものです。文章中の()にあてはまる内容を書きなさい。

1974年、天神崎の海岸の森の一部に別荘^{べっそう}が建設されることになりました。しかし、別荘ができると森が少なくなり、森や磯^{いそ}の生物にも影響^{えいきょう}が及ぶことになります。この計画を知った高校の先生が市民と「天神崎の自然を大切にする会」を作り、市民の署名^{しよめい}を集めて、市長や和歌山県知事に要望活動を行いました。しかし、県は、別荘を作ることを止めることはできないと判断しました。そこで、この自然を残すために、市民たちは()になり、市民地主運動が始まりました。

()

演習問題 A

1 あつこさんとゆうきさんは、森林の役割^{やくわり}について話し合っています。次の会話文を読んで、あとの問いに答えましょう。

あつこ：「日本の国土面積のおよそ3分の2が森林だね。」

ゆうき：「そうだね。森林には重要な働きがあるね。」

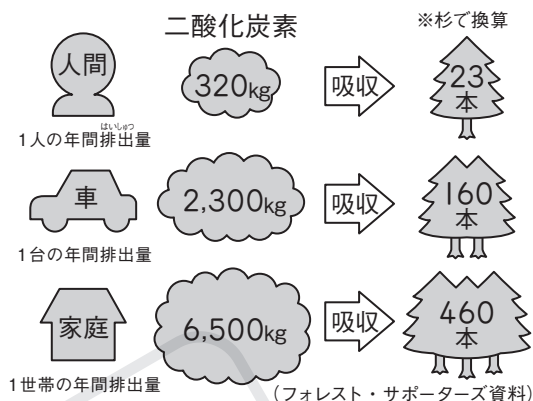
あつこ：「森林の働きで、地球の環境^{かんきょう}を守ることもできるよね。右の資料を見て。」

ゆうき：「1本の杉^{すぎ}で、およそ(①)kgの二酸化炭素^{きゅうしゅう}を吸収して、空気をきれいにするんだね。」

あつこ：「②緑のダム^{ろくのみ}ってよばれる働きもあるよね。」

ゆうき：「③ほかの森林の働き^{ほかのしんりんのかんき}についてもくわしく調べてみたいな。」

資料 杉が吸収する二酸化炭素の量



□(1) 資料を参考に、会話文中の(①)にあてはまる数字を書きなさい。ただし、小数第1位を四捨五入して整数で答えなさい。()kg

□(2) 下線部②について、次の文中の(A)・(B)にあてはまる内容を、右の図を参考にして、書きなさい。

A()
B()



緑のダムは、大雨が降ったときには、(A) 働きをし、晴れた日が続いたときには、(B) 働きをする。

□(3) 下線部③について、ゆうきさんは北海道の襟裳岬^{えりもみさき}で行われた取り組みについて調べました。この取り組みについてまとめた、次の文章中の()にあてはまる内容を書きなさい。

明治時代、この地域^{ちいき}では、森林が伐採^{ばっさい}されていました。そのため、飛び交った砂^{すな}や泥^{どろ}が飲料水に入ったり、近くの海を汚したりしていました。そこで緑化面積を増やす取り組みを始めるようになりました。この理由の一つには、() という森林の働きが関係しています。

()

基本問題

次の()にあてはまる語を書きましょう。

- ① 日本は、国土面積の約()を森林がしめています。(①)
- ② 森林は、雨水をたくわえることで、洪水や干害を防ぐ働きがあることから、「()」とよばれています。(②)
- ③ ()は、砂が飛んで、それらが入ってくることを防ぐために植えられた森林です。(③)
- ④ ()は、風の強い地域で見られ、風の害から守るために植えられた森林です。(④)
- ⑤ 森林から川や海に()がたくさん流れこんで、多くの魚や貝を育てます。(⑤)
- ⑥ 森林には、空気中の二酸化炭素を吸収し、()を作り出す働きがあります。(⑥)
- ⑦ 森林のうち、自然にできたものを()といいます。(⑦)
- ⑧ 森林のうち、人の手で植林したものを()といいます。(⑧)
- ⑨ 日本の林業の問題点は、人手不足や()化で林業がおとろえつつあり、手入れをしていない森林が増えていることです。(⑨)
- ⑩ ユネスコの世界自然遺産に登録されていて、青森県・秋田県に広がる、ぶなの⑦が広がる山地は()です。(⑩)
- ⑪ ユネスコの世界自然遺産に登録されていて、じゅれい数千年と推定される、縄文杉で有名な鹿児島県の島は()です。(⑪)
- ⑫ 水鳥の生息地として、国際的に重要な湿地を守るために結ばれた条約を()といいます。(⑫)
- ⑬ 120年ほど前にイギリスで始まった、大切な自然や文化財を守るために、寄付をつのって土地や建物、歴史的な遺産などを買い取って保存していこうという運動を()といいます。(⑬)

森林と自然環境

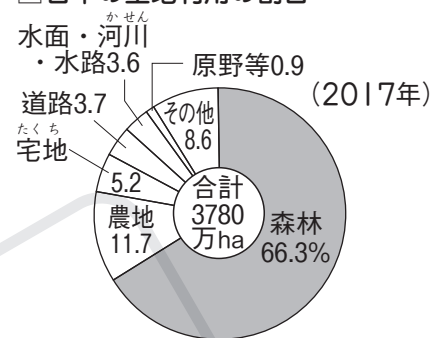
テーマ

日本の国土や自然環境は、わたしたちの生活とどのようなかかわりがあるのでしょうか。森林の働きや自然を守る活動について学びます。

① 森林の働き

- (1) 森林面積の大きい日本…国土面積の約3分の2を森林がしめている。
- (2) 森林の働き…森林には、根で土を支え、土砂くずれや洪水を防ぐなど、自然災害を減らす働きがある。また、防風林・防雪林・防砂林として、風や雪、砂の害から守ってくれる。森林に降った雨は、落ち葉や土の中をゆっくりと通って地下水としてたくわえられ、わき水となったり、川へ流れ出たりすることから、森林は、洪水や干害を防ぐ「緑のダム」とよばれている。そのほかにも、音を吸収する、空気中の二酸化炭素を吸収して酸素を作り出すなどの、地面の温度が上がるのをやわらげる、資源として木材を生み出すなどの働きもある。さらに、野生動物のすみかとなったり、川の上流の森林にたくわえられた栄養分が、川や海に流れこみ、魚や貝などを育てたりもする(魚つき林)。観光などで、人びとのいいこの場にもなる。
- (3) 森林を育てる(林業のようす)…日本の森林は、天然林(自然にできたもの)が少なくなり、人工林(人が植林したもの)が増えている。林業に従事する人びとは、山の環境を守りながら、苗木から伐採まで何十年もかけて森林を育てている。日本の林業は人手不足や高齢化でおとろえつつあり、手入れをしていない森林が増えている。外国からの木材の輸入が増えているが、近年は国産の木材も見直され始めている。

①日本の土地利用の割合



※国土交通省しらべ。北方領土(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島)と竹島をふくむ。
(2020/21年版「日本国勢図会」)

② 自然を守る

- (1) 森林を守る…秋田県と青森県に広がる白神山地には、世界でも最大級のぶなの天然林がある。これを守るため、縄文杉で有名な鹿児島県の屋久島とともに、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の世界自然遺産に登録されている。世界自然遺産には、北海道の知床や東京都の小笠原諸島なども登録されている。
- (2) 湿地を守る…水鳥が生息する環境を守るために琵琶湖(滋賀県)をはじめ、釧路湿原(北海道)、谷津干潟(千葉県)などの湿地がラムサール条約に登録されている。
- (3) ナショナルトラスト運動…自然や文化財などを守るため、寄付をつのって土地や建物などを買い取り、保存していかうとする運動。120年ほど前にイギリスで始まり、日本では、和歌山県の天神崎、東京都・埼玉県に広がる狭山丘陵、北海道の知床などで活動が行われている。

②自然を守る取り組み

